

春は名のみ風の寒さや

谷の炊鳥歌は思えど

時にあらずと声も立てず

時にあらずと聲も立てず

時の草書体

聲の草書体

一十右左

段級

氏名

早春賦 I

作詞 吉丸 一昌
作曲 中田 章